

区分	科目名		単位数	担当教員
	平成26年度以降			野澤 基恭
平成25年度以前	欧米文化論	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			
	教科に関する科目(中学校(社会)):社会学、経済学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):社会学、経済学(国際経済を含む)			
言語	授業の到達目標及びテーマ			
共通	<p>ヨーロッパでは「国民国家」のあり方への問い直し但他的世界でも例が無いほど自覚的に行われている。政治的分権化、文化の多元化、そして国家を超えるコミュニティの追求などがその例である。そこで、ヨーロッパでは、国家がどのようなものとして見なされているか、人権という概念を通して考察してみたい。</p>			
専門基礎	授業の概要			
法律一般	<p>日本は単一民族国家であり、国籍法により原則として血統主義により国籍が確定する。また、外国人には一定の権利は認められてはいない。しかし、多くの移民を抱えるヨーロッパ諸国は、問題はそう簡単ではない。そこで、今日よく耳にする「ヨーロッパ市民」とは一体何なのか概観してみたい。</p>			
政治行政	授業計画			
経営法務	第1回:ヨーロッパの起源と人権の原理			
スポーツ福祉	第2回:人権の国際的保障とは			
25年度以前 共通科目	第3回:地域の自立と主権			
	第4回:大量の移動と「市民」			
	第5回:人道主義とは何か			
	第6回:国籍とは何か、その変遷			
	第7回:国籍からの自由			
	第8回:国籍と地方参政権			
	第9回:ヨーロッパ人の登場			
	第10回:トランスナショナル市民権			
	第11回:移民の市民化			
	第12回:ジェンダーと平等			
	第13回:新しいライフスタイルとシティズンシップ			
	第14回:多文化主義への逆風			
	第15回:中等教育における欧米文化研究の位置づけ			
25年度以前	テキスト			
共通科目	自作のプリントとレジュメを配付する予定である。			
	参考書・参考資料等			
	開講時に指示する。			
	学生に対する評価			
	原則として、定期考査による。			